

かわさき 図書館だより



図書館ホームページ:<http://www.library.city.kawasaki.jp/>

2013 かわさき読書週間 イベント情報

10月27日(日)～11月9日(土)は「かわさき読書週間」です!

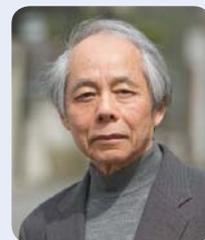
“読書のまち・かわさき”では、「かわさき読書の日」(11月第1日曜日)をはさんだ2週間を「かわさき読書週間」とし、図書館や学校などで様々な取り組みを行っています。今年も読書週間を中心に、子どもから大人まで楽しめるイベントを開催いたします。ぜひご参加ください。

川崎図書館 大師分館 田島分館	11月10日(日)	川崎・大師・田島合同企画「おはなしキャラバン」 紙しばい・パネルシアター・てあそび・うたあそび など
幸図書館	10月 3日(木)	大人のためのウィークデーサロン(おはなし会)～耳から楽しむ「昔ばなし」の世界へようこそ～
	10月30日(水)	10月のおはなし会
	11月 9日(土)	大人のための朗読会
	11月13日(水)	おはなしワールド 外国の言葉と日本の言葉で絵本の読み聞かせや言葉遊び
日吉分館	10月18日(金)	リユース本・ミニ配布会
	10月26日(土)	ストーリーテリング秋のおはなし会
中原図書館	11月 2日(土)～ 11月 3日(日)	なかはら子どもとしゃかん本の森 絵本の読み聞かせ・絵本展示・ボランティア紹介展示 ほか
	11月 9日(土)	大人のための朗読会
	10月19日(土)	秋のおたのしみ会 親子で科学の玉手箱
高津図書館	10月26日(土)～ 11月 4日(月)	高津区の読書活動紹介展示 図書館で活動しているグループや学校図書館の活動紹介 ポスター作品展示 ほか
	11月 9日(土)～ 11月10日(日)	リユース本の配布・本の展示 等
橘分館	11月10日(日)	どんぐり広場 紙芝居中心のおはなし会、おすすめ絵本の展示
	10月18日(金)～ 10月23日(水) 《10月21日(月)は休館》	みやまえ読書の日・本とお話の一週間 人形劇・おはなし会・ミニ講演・子どもの本の展示 わらべ歌・本の病院・学校図書館ボランティアの活動展示 その他
多摩図書館	10月22日(火)	養老孟司講演会
	10月 5日(土) 10月12日(土)	多摩区郷土史入門講座
	10月26日(土)～ 11月 4日(月)	図書館で活動しているグループや学校図書館の活動紹介展示
	11月10日(日)	秋のおはなし会
麻生図書館	11月 6日(水)	秋の親子おはなし会～親子で人形劇を楽しもう!～
	11月15日(金)	大人の方楽しんでいただくお話の会
柿生分館	10月26日(土)～ 11月 3日(日)	読み聞かせボランティアによるおはなし会、思い出・お気に入りの絵本展示、汚破損本の展示
	10月19日(土) 10月20日(日)	一日図書館員
	11月 3日(日)	第11回読書の日のつどい 作家による講演会と読書活動優秀団体表彰式 児童生徒の作品(読書ポスター・標語など)の表彰・作品展示

予告なしに変更する場合があります。
申し込み方法・会場など詳しくは図書館ホームページや各図書館(「読書の日のつどい」は教育委員会指導課)へお問い合わせください。

山田太一講演会 今ここで生きているということ

数多くのドラマや映画作品で知られる脚本家・山田太一さんを講師にお迎えし、お話をうかがいます。作品の中で、様々な人間模様、人生を描いてきた山田さんが語る、“今ここで生きている”ということ。わが川崎の街に暮らす山田さんの、地元でのお話です。ひととき同じ時間を過ごしませんか。



—講師紹介—

山田 太一（やまだ たいち）

- ・1934年生まれ。
- ・早稲田大学教育学部国語国文科卒業。
- ・松竹に入社。助監督として木下恵介監督に師事。1965年に松竹を退社し、脚本家・小説家として独立。多くのテレビドラマや小説、舞台の脚本を手掛けている。平成17年から川崎市市民文化大使を2期務め川崎市の文化振興に貢献。平成21年からは川崎市名誉文化大使に。川崎市高津区在住。
- 主な作品に、『男たちの旅路』、『日本の面影』、『岸辺のアルバム』、『ふぞろいの林檎たち』、『ありふれた奇跡』、『異人たちとの夏』、『キルトの家』、『少年時代』などがある。
- 第14回日本アカデミー賞最優秀脚本賞、第2回向田邦子賞、第1回山本周五郎賞、ほか多数受賞。

日時 平成25年12月4日(水) 午後6時～8時
会場 高津市民館 大ホール(溝の口駅下車)
定員 600名(先着順・全席自由)
申込み 11月8日(金) 午前10時から
 各図書館・分館・閲覧所カウンターにて整理券を配布します。
 (お1人4枚まで、参加無料)
問合せ 中原図書館(電話044-722-4932)
 ※11月8日(金) 午前10時から上記電話番号にて電話での申込みも受け付けします。

第21回



(このコーナーでは、川崎をもっとよく知り、もっと楽しむための本を紹介しています。今回は、読書普及講演会に合わせて、山田太一さんの著作をご紹介します。)

A: 『リリアン』 山田太一／作 黒井健／絵 小学館 2006.6
 ある日の夕方、男の子が裏通りで遊んでいると、お人形のような顔の女の子が話しかけてきて…。現実と夢の世界が交差する、不思議な思い出の物語です。山田さんが初めて書いた子どものための物語(絵本)です。絵は川崎市在住の黒井さんによって、3年以上かけて描かれました。「かわさき子ども読書100選」小学生版の中の1冊です。



A

B: 『終りに見た街』 山田太一／著 中央公論社 1981.11
 突然、太平洋戦争末期の日本にタイムスリップしてしまった家族。戦後を生き、この戦争の結末を知る彼らも、悪夢のような世界に飲み込まれていく。戦争の恐怖がひたひたと伝わる作品です。川崎市高津区が舞台となっています。小説版のほか、テレビドラマ化されたシナリオ版もあります。(1982年・2005年放映)

C: 『日本の面影 ラフカディオ・ハーンの世界』 山田太一／著 岩波書店 2002.10
 山田さんによるテレビドラマ(1984年放映)のシナリオです。ギリシャに生まれたラフカディオ・ハーンが、日本に帰化し、日本人・小泉八雲として生きていくことを決意する過程が、実に人間味あふれる表現で描かれています。八雲の人間臭さや心の広さ・温かさを感じることができ、心が温かくなる作品です。第21回ギャラクシー賞大賞、第2回向田邦子賞受賞作品。1996年には舞台化もされました。



C

D: 『20世紀のかわさき』 川崎市市民局広報課／企画・編集 2001.2
 市民グラフかわさき「ひろば」の特別号です。川崎市の歩み、人びとの暮らしなど、100年間の軌跡を写真で振り返ります。川崎ゆかりの著名人や市民のみなさんからのメッセージのうち、山田さんによるエッセイ「わが街・かわさき」が巻頭を飾ります。

Q&A 図書館に寄せられたお問い合わせから

Q：メールアドレスを登録したのに、図書館からのメールが届きません。どうしたらいいですか？

A：図書館では、予約資料のご連絡や新着図書のご案内などをメールでお知らせしています。メールアドレスをご登録いただいてもメールが受信できない場合は、次のことについてご確認ください。



- ① 登録されているメールアドレスに間違いはありませんか？
- ② 受信メールボックスがいっぱいになっていませんか？ 空き容量をご確認いただき、こまめな受信を心がけてください。
- ③ 迷惑メール対策など受信許可・拒否の設定等をしていませんか？ ご利用のメールのフィルタリング設定をお確かめください。

* 図書館からのメールの送信ドメインは「library.city.kawasaki.jp」（@マークの右側の部分）です。このドメインからのメールを受信できるように設定してください。

* 図書館ホームページのURL付きメールをお送りすることがありますので、URLを含むメールを受信できるように設定してください。

②③の確認、設定方法については、ご利用のプロバイダ・携帯電話会社などにご相談ください。

“2013 川崎フロンターレと本を読もう！” 開催中！

今年も川崎フロンターレと協働して、選手おすすめ本の紹介冊子などの配布やおはなし会を開催します。

★人形劇団ひとみ座によるフロンターレキャラクター人形劇&選手おはなし会★

フロンターレ・ワルンタの楽しい人形劇と選手やコーチによる読み聞かせの共演です！

★「キックオフ！読書のまち・かわさき」Vol.5、しおりの配布★

フロンターレ選手が選んだおすすめ本の紹介冊子と特製しおりを、各川崎市立図書館で配布中です。今年は、さらに冊子で紹介している選手おすすめ本について、「帯コメント（紹介コメント）」を大募集！！あなたならどんな帯コメントを付けますか？（応募締切：10月23日）

★フロンターレ絵本「どくしょすき？」の製作★

小さいお子様から本に親しめるようにと、フロンターレ絵本「どくしょすき？」を製作しました。10月13日（日）から市立図書館全館で貸出を開始します。

▶ 詳しくは、図書館ホームページ、または、川崎フロンターレ公式ホームページをご覧ください。



フロンターレ選手が選ぶ「わたしの1冊」

わが街・川崎のJ1サッカークラブ「川崎フロンターレ」と図書館との合同企画です。第13回は、風間宏希選手が選ぶ1冊を紹介します。

【秘密】 東野圭吾／著 【文藝春秋】 1998年刊

《内容紹介》

妻と小学生の娘を乗せたバスが事故に。奇跡的に娘は助かるが、娘の身体には妻の魂が宿っていた。子どもから大人に成長していく娘。しかし人格は妻。夫の葛藤が切ないミステリー。

KAWASAKI
Frontale

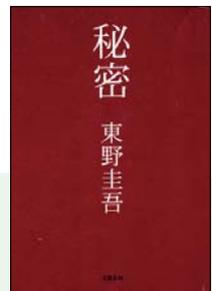


*** 風間宏希選手より ***

U-19日本代表合宿のときに、他の選手からすすめられて読みました。すごく有名な本ですが読みやすく、子どもと大人が彷徨うところなど印象に残っています。当時は、海外（ポルトガル）にいたので、外に出ても特にすることがなかったこともあって、この本の、えっ!?! って思うような、まさかの展開がおもしろくて、家でずっと読んでいました。

【MF31 風間宏希選手】

足下のテクニックとパスワークで攻撃のリズムを作るMF。昨年はシーズン途中の加入ながら、多くの試合で先発出場を果たした。



川崎市の歩みと未来の展望 (5)

「川崎市史」刊行と成果について (3) 法政大学名誉教授 村上直

昭和41年(1966)1月26日、川崎市役所で、『川崎市史』編さんの最初の打ち合わせがあり、服部一馬氏が全体の総括を行うことになりました。

そして、2月24日に、いさご会館(川崎区宮本町3-3)で執筆者会議が行われ、これ以後、毎月定例会を開いて、諸般の問題を論議し、意見を交換しながら進行していくことになったのです。

執筆者会議の出席者は、川崎市の事務局の他、第一編担当の古江亮仁、佐脇栄智(事務局)、村上直、小林孝雄。第二編・第三編・第四編担当の服部一馬、嶋村龍蔵、小川一朗、長田五郎、岩崎重男、そして後に参加する今井清一の諸氏でした。各編の題名は、後で正式に決定するのですが、第一編「市域のおいたち」(先史時代及び古代・中世の川崎・近世の川崎・明治時代[前期]の川崎)、第二編「産業の発展と川崎市の誕生」、第三編「京浜工業地帯の発展と工業都市川崎」、第四編「戦災から百万都市へ」-「川崎市の歴史と未来(むすびに代えて)」となっています。

『川崎市史』の編さんは、当初より近代以降に重きを置く構成になっていましたので、市史の完成後を見ますと、第二編(明治時代後期以後)以降が全体の75パーセントを占めております。執筆者会議で討議されました基本構想の内容は要約しますと、次のような4項目にまとめられます。

- ①川崎市が近代工業都市として発展した時代に、重点を置く。
- ②記述は客観的に、日本史の流れのなかで川崎市の特色をとらえていく。
- ③記述の内容は、社会、経済、政治、文化の全般に及ぶように努める。
- ④記述は、市民に読み易く、理解できるようにする。

執筆者はこうした点を念頭に置きながら、資料

の収集や内容の検討、調査の整理に努めました。その結果、当初の予定より増頁することになり、一部、執筆者の交替なども行われました。とくに、第二編以降は、重複部分の調整なども行ったので進行が若干遅くなりました。

「近世の川崎」の執筆と内容

私の担当した、第一編の第三章「近世の川崎」について、その内容の一部を紹介いたします。全体は、江戸幕府の成立と川崎、宿場・農村の発展と生活、幕藩体制の動揺と川崎、江戸幕府の崩壊と諸村の動向、の4つの節の項目より構成されています。そして、天正18年(1590)8月の徳川氏の関東入国から慶応4年(1868)3月の江戸幕府の滅亡に至る278年の歴史のなかで、川崎市域の歴史の歩みについて、実証的な研究に基づきながら明らかにしていこうとしたものです。とくに大都市である江戸の近郊農村としての地域的特質を歴史的環境のなかで位置づけようとしてきました。



川崎市役所本庁舎

(昭和13年竣工、同34年に3階建から4階建に増築され現在の姿に)

～ご協力ありがとうございました～

図書館システム機器入れ替えに伴う休館中は、大変ご不便をおかけいたしました。

これまで中原図書館でのみご利用いただいていた自動貸出機を、各地区図書館にも設置いたしましたので、ぜひご利用ください。

編集・発行 川崎市立中原図書館 〒211-0063 川崎市中原区小杉町3-1301 TEL044-722-4932

川崎市立図書館：

川崎図書館(200-7011) 高津図書館(822-2413) 麻生図書館(951-1305) 大師分館(266-3550) 橘分館(788-1531)
幸図書館(541-3915) 宮前図書館(888-3918) 田島分館(333-9120) 柿生分館(986-6470)
中原図書館(722-4932) 多摩図書館(935-3400) 日吉分館(587-1491) 菅覧所(946-3271)